

安全講習会を行いました！

H29.5.25(木)

年2回の安全講習会の実施により心肺蘇生法の熟得、避難訓練・避難誘導を確実にレベルアップして安全を確保していきます。今回は、前半に火災による避難訓練を行い、素早く避難誘導ができるよう全員で取り組みました。同じく書面で、大地震による誘導・津波警報が出た時の誘導もイメージトレーニングしました。後半は、心肺蘇生法を行い、ガイドライン2015に沿って練習を行いました。年に2回行っているだけあり、全職員スムーズに心肺蘇生が出来ました。万が一、起こらないことが一番ですが、起きてしまった時のために真剣にがんばりました。

下の写真は、コーチ・職員が訓練・練習をしているところです。参考までに解説します！



避難訓練は安全でスムーズに避難場所に誘導



避難場所に着いたら、まず点呼！



バスの運転手さんも心肺蘇生法はマスターしています。「いざ」と言う時には、まず、119番とAEDの要請です。

心肺蘇生法は「慣れ」と「確実性」が必要です。



心臓マッサージは「強く・速く・絶え間なく」がコツです。
5～6Cmの圧迫、1分間に100～120回の圧迫が必要で、人工呼吸は1秒に1回を2回連続して行い胸部圧迫30回の繰り返しです。
でも、心肺蘇生を行うことが無いよう、コーチ・職員が一丸となって安全確保に努めます！

